

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年 6月 15日

埼玉県知事 殿

提出者

住 所 東京都西東京市芝久保町4-26-3

氏 名 株式会社 東栄住宅  
代表取締役 佐藤 千尋

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 042-463-2231

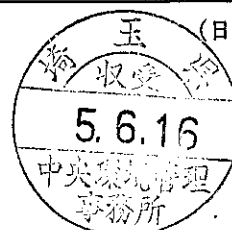
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 東栄住宅
事業場の所在地	東京都西東京市芝久保町4-26-3
事業の種類	不動産業、建設業、など
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,960.00t	全処理委託量	2,960.00t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00t	優良認定処理業者への処理委託量	1,751.00t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00t	再生利用業者への処理委託量	2,410.00t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	547.00t

※事務処理欄



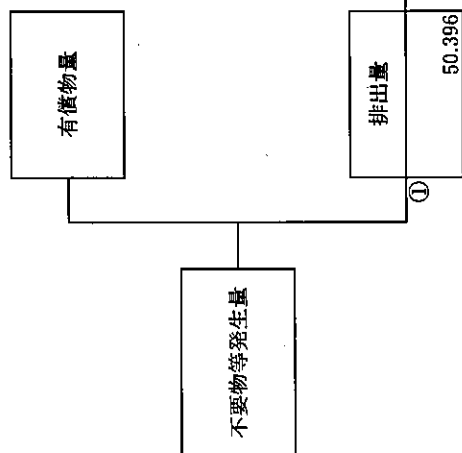
(日本産業規格 A列4番)

産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 実 施 状 況 報 告 書 の 〔 第 2

※ 最下行の名称は任意入力です。

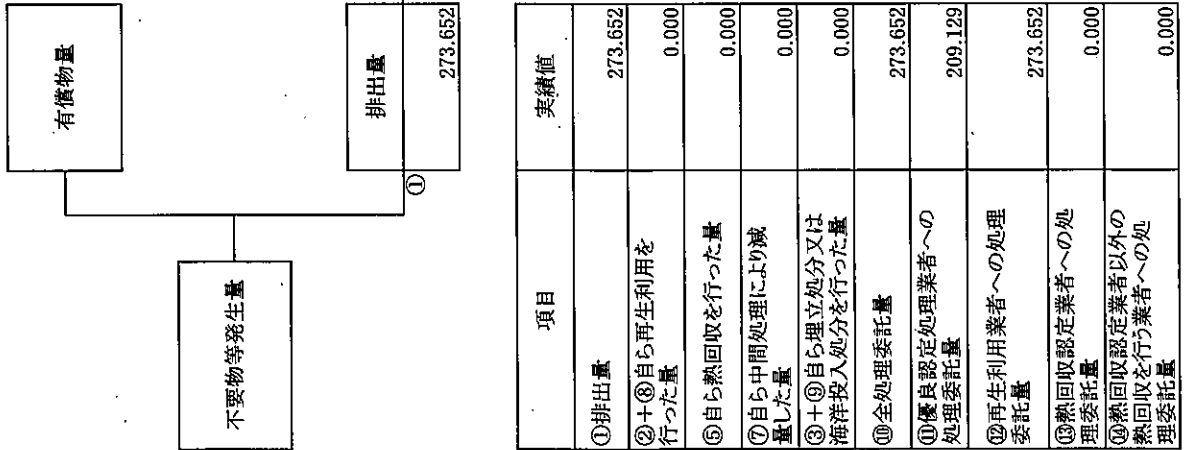
名 称	⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭					⑮
	⑩ 排出量 (t)	⑪ 直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	⑫ 優良認定処理業者 への処理委託量(t)	⑬ 再生利用業者への 処理委託量(t)	⑭ 熱回収認定業者 への処理委託量(t)	
産業廃棄物の種類 当該事業場において 生じた産業廃棄物の 種類ごとの量						
産業廃棄物の種類		中間処理及び最終処分 を委託した量	⑩の量のうち、優良認 定処理業者への委託処 理量	⑩の量のうち、処理業者へ の再生利用委託量(⑬、⑭ 除く)	⑩の量のうち、認定熱回 収施設設置者である処 理業者への焼却処理委 託量	⑩の量のうち、認定熱回 収施設以外の熱回収を行 っている処理業者へ の焼却処理委託量
廃プラスチック類	50.396	50.396	30.281	32.854	0.000	16.265
金属くず	273.652	273.652	209.129	273.652	0.000	0.000
金属くず (水銀関連除く)	273.652	273.652	209.129	273.652	0.000	0.000
ガラス陶磁器等くず、 ガラス陶磁器等くず (水銀関連除く)	464.282	464.282	391.398	453.890	0.000	0.056
がれき類	48.707	48.707	16.739	47.869	0.000	0.000
コンクリート片	48.707	48.707	16.739	47.869	0.000	0.000
紙くず	180.932	180.932	110.078	159.110	0.000	21.822
木くず	224.610	224.610	139.182	187.986	0.000	36.624
建設混合廃棄物	2.837	2.837	2.837	0.000	0.000	2.837
合計	1,245.416	1,245.416	899.644	1,155.361	0.000	77.604

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	50,396
②+⑧自ら再生利用を行った量	0,000
⑤自ら熱回収を行った量	0,000
⑦自ら中間処理により減量した量	0,000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0,000
⑩全処理委託量	50,396
⑩優良認定処理業者への処理委託量	30,281
⑩再生利用業者への処理委託量	32,854
⑩熱回収認定業者への処理委託量	0,000
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	16,265

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 金属くず(水銀関連除く))

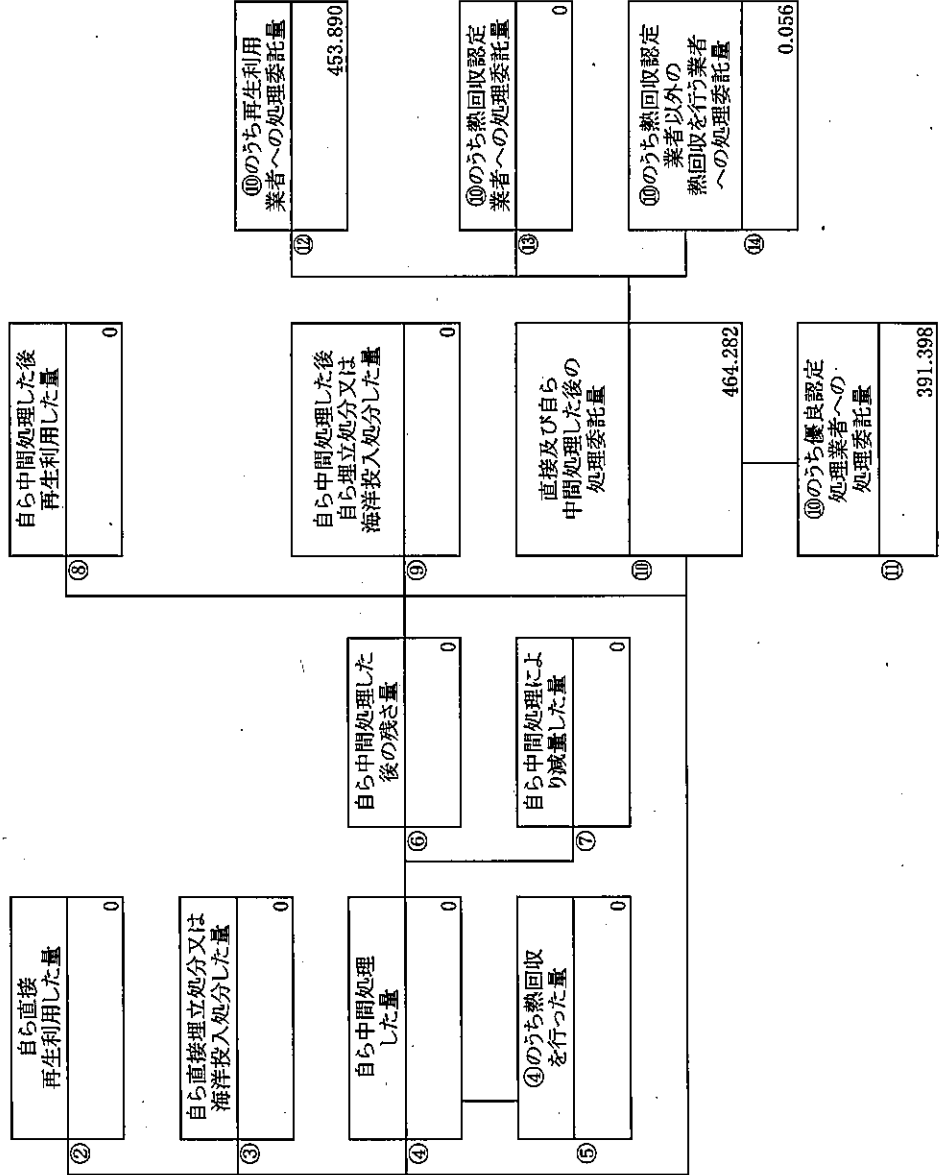
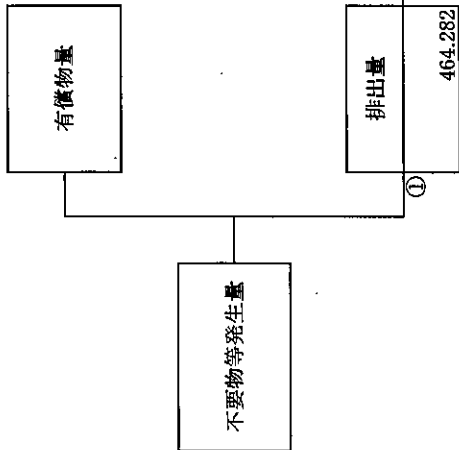


項目	実績値
①排出量	273.652
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	273.652
⑪優良認定処理業者への処理委託量	209.129
⑫再生利用業者への処理委託量	273.652
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

②	自ら直接再生利用した量	0
③	自ら中間処理した後の再生利用した量	0
④	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑤	自ら中間処理した量	0
⑥	自ら中間処理した後の残さ量	0
⑦	自ら中間処理により減量した量	0
⑧	自ら中間処理した後の再生利用した量	0
⑨	自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	273.652
⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	209.129
⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	273.652
⑬	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

(産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器等くず(水銀関連を除く))

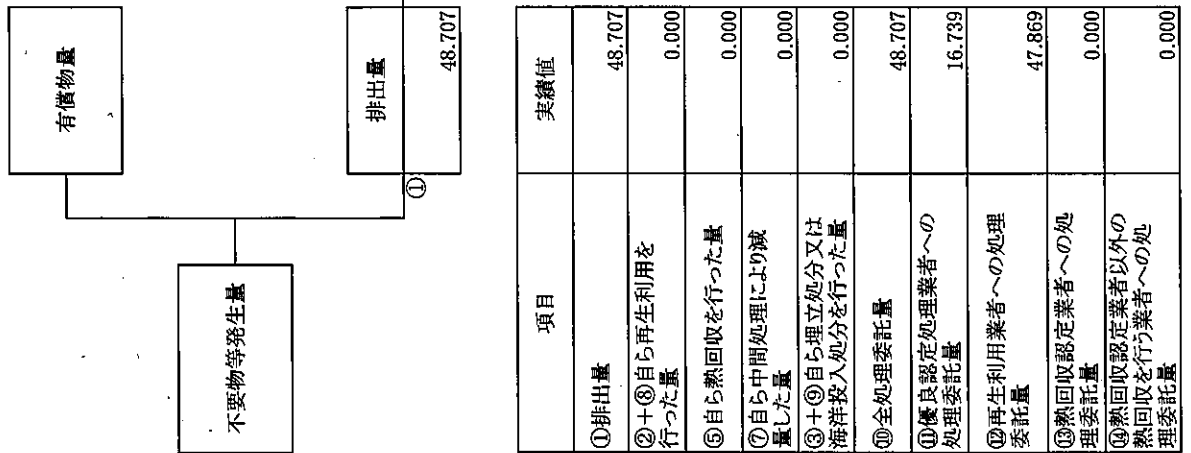
計画の実施状況



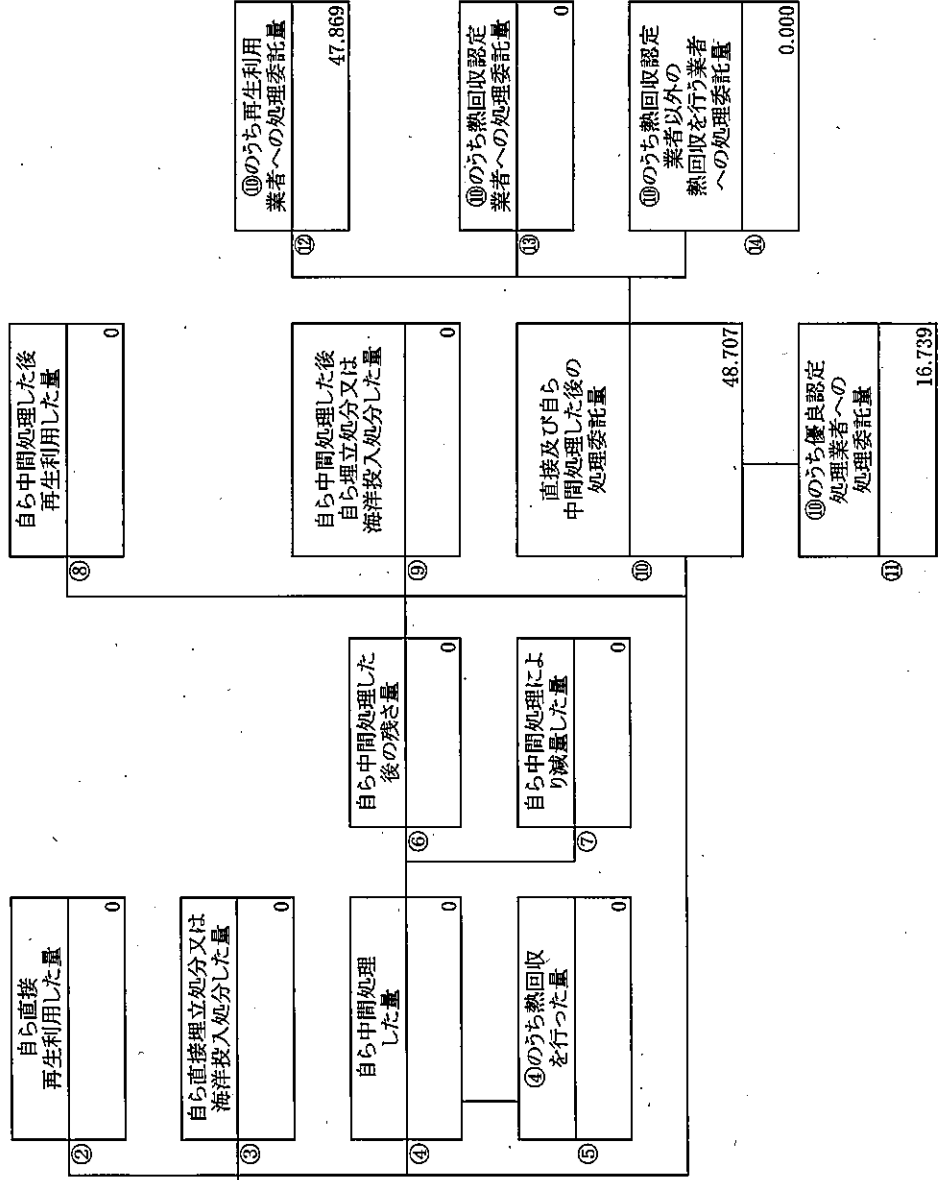
項目	実績値
①排出量	464.282
②+③自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	464.282
⑪優良認定処理業者への処理委託量	391.398
⑫再生利用業者への処理委託量	453.890
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	0.056

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)

計画の実施状況

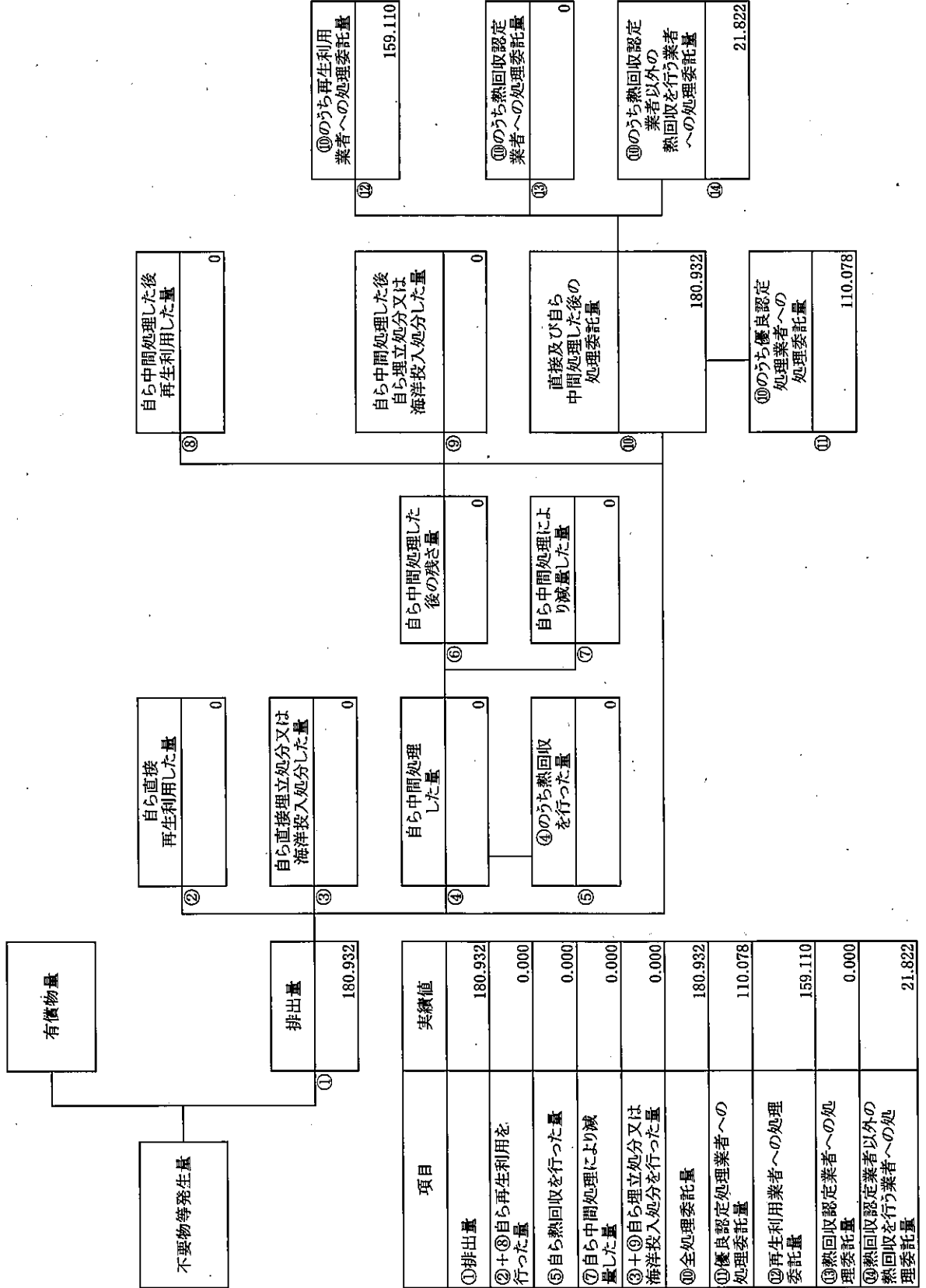


項目	実績値
①排出量	48,707
②+⑧自ら再生利用を行った量	0,000
⑤自ら熱回収を行った量	0,000
⑦自ら中間処理により減量した量	0,000
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0,000
⑩全処理委託量	48,707
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16,739
⑫再生利用業者への処理委託量	47,869
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0,000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0,000



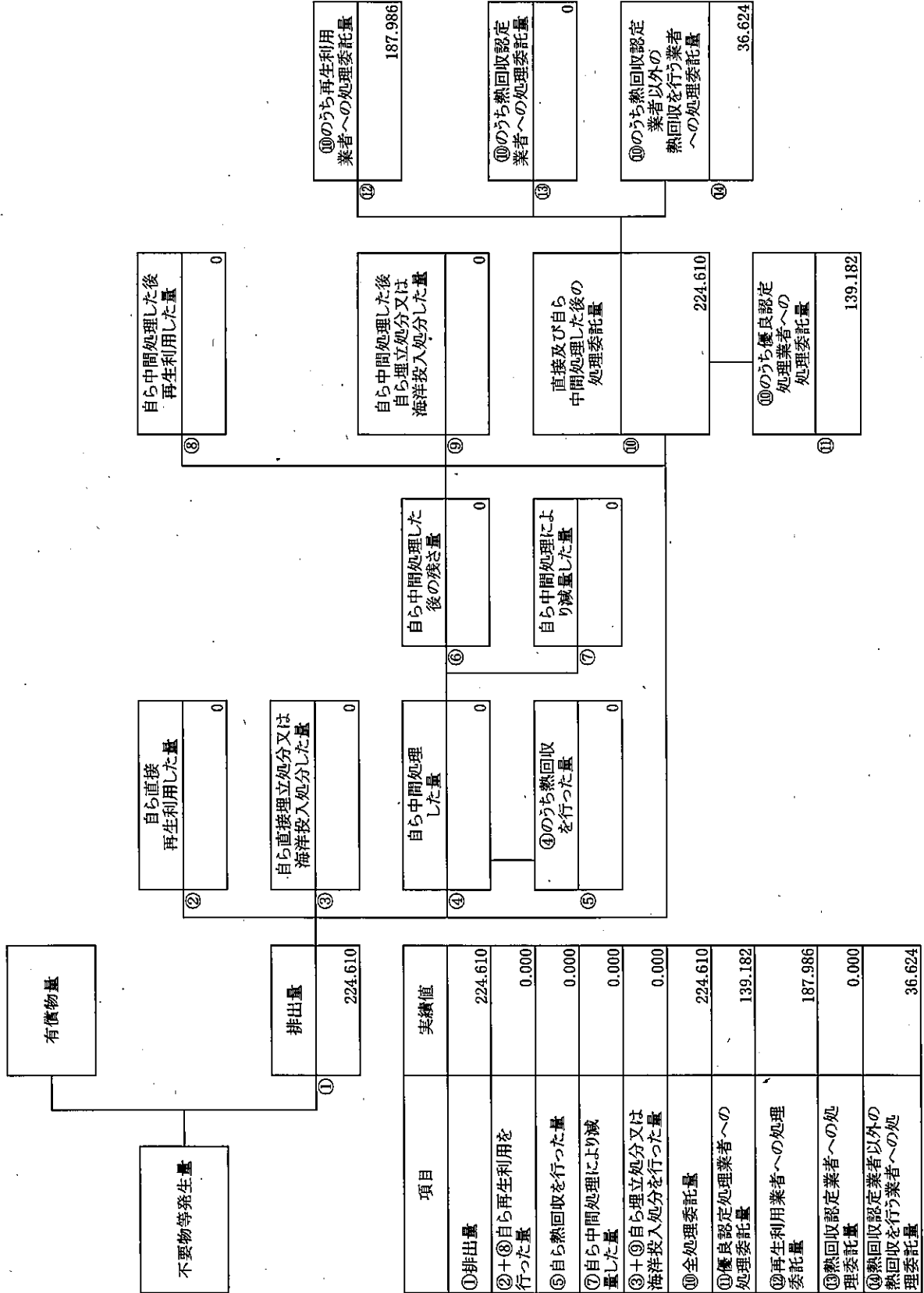
(産業廃棄物の種類: 紙くず)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	180.932
②+③自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	180.932
⑩優良認定処理業者への処理委託量	110.078
⑩再生利用業者への処理委託量	159.110
⑩熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	21.822

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 木くず)

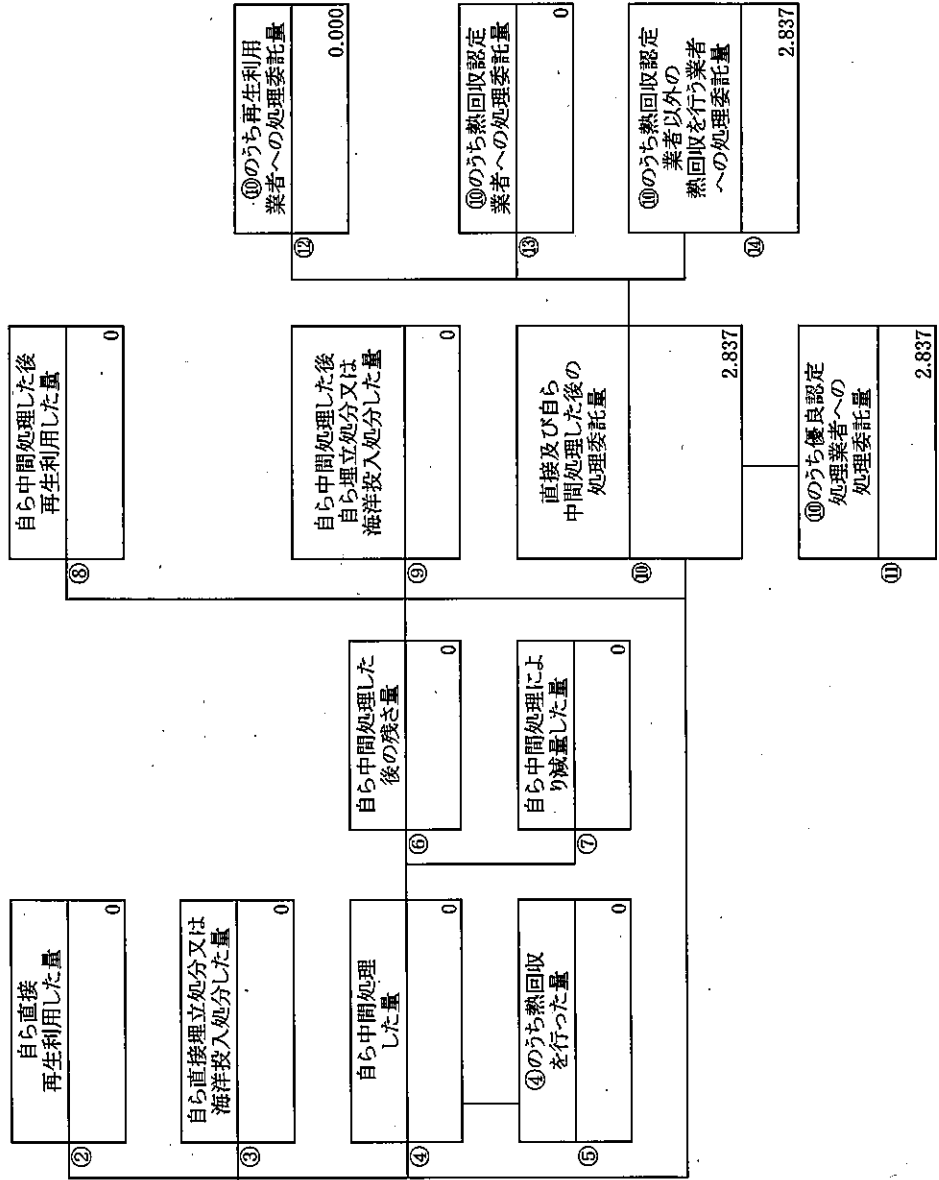
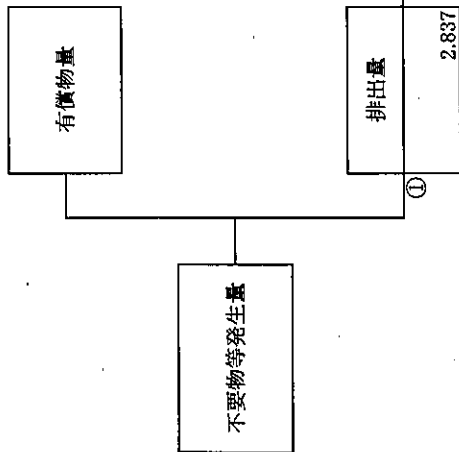


項目	実績値
①排出量	224.610
②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳+㉑+㉒+㉓+㉔+㉕+㉖+㉗+㉘+㉙+㉚+㉛+㉜+㉝+㉞+㉟+㊱+㊲+㊳+㊴+㊵+㊶+㊷+㊸+㊹+㊺+㊻+㊼+㊽+㊾+㊿	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳+㉑+㉒+㉓+㉔+㉕+㉖+㉗+㉘+㉙+㉚+㉛+㉜+㉝+㉞+㉟+㊱+㊲+㊳+㊴+㊵+㊶+㊷+㊸+㊹+㊺+㊻+㊼+㊽+㊾+㊿	0.000
⑩全処理委託量	224.610
⑪優良認定処理業者への処理委託量	139.182
⑫再生利用業者への処理委託量	187.986
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	36.624



(産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	2.837
②+③自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	2.837
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.837
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.837

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。